

## はじめの一步②

2016年8月29日(月) ~ 30日(火)

IN 明石市立少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設まで移動	海遊び	キャンドルサービス
2日目	清掃・野外炊飯	施設を出発・解散	

一日目： 天候は台風の影響で荒天ですが、メンバーのテンションは上々で暗い雰囲気は一切ありません。三ノ宮で全体集合した後、電車を乗り継ぎ、施設の最寄り駅まで向かいました。その頃には雨足も強くなりましたが、雨に負けず、カッパを着用して元気よく進みました。施設に到着すると、少し早いですが、昼食を済ませました。食後、入所式を済ませ海遊びの準備を行いました。雨は降っていますが、波は立っておらず海が穏やかなので、海へ向かいました。少し肌寒かったですが、海の楽しさに寒さを忘れ、大いに遊びました。波打ち際にワカメが非常に多く、入ることを躊躇うかと思いきや、そのワカメをかき集めたり、投げ合ったり、頭にのせて笑いあったりしてワカメを使って楽しまれていました。夕食は炊き出しで『色々スパゲッティ』です。様々な味を自分好みにして美味しく食べました。お昼が早かった事と、海遊びしたことでお腹が減っていたのでしょうか、何度もおかわりをされる方もおられ、見事完食されました。夜はキャンドルファイアを行いました。リーダーが行うレクリエーションに笑い、踊り、楽しく、とても有意義な時間を過ごしました。今日一日動き続けてヘトヘトなのでしょう、布団に入るとあっという間に寝られていました。



二日目： 朝からシーツを畳んだり、荷物を片付けたりと大忙しです。天候は一日目に比べ良く、お日様も顔を出しています。朝の集いが終わると朝食の時間です。みんなで「バックドッグ」を作りました。経験した事ある方は、初めての方にフォローされている姿が見られました。当日は風が強く、アルミホイルや食材が飛ばないように協力して作られていました。朝食が終わると片付けです。お世話になった施設をキレイにしました。利用した部屋やトイレを誰一人文句言わず一生懸命されています。その後「野外炊飯」をしました。メニューは定番のカレーです。定番の食材からスペシャル食材まで、沢山の材料をもとにカレーを作りました。ごはん係は水だけ流そうとしてもつい米も落ちてしまい、その都度拾われていました。カレー係はとにかく切る食材が多く、必死に切られていました。玉ねぎが目には沁み、涙を流されている光景も伺えました。かまど係はひたすら火を起こしました。前日の雨で木材が湿っており、なかなか火がつかず、ついても煙が立ち上がり、ゴホゴホとしながらも火を消さないようにうちわで扇いで、木材を燃やしておられました。こうしてみんなで協力したカレーが完成しました。食べた時、今までの頑張りが一気に笑顔になって出てきました。本当に美味しく食べておられました。食べ終わったら片付けです。カレーの油ものや鍋や飯ごうのスス取り、かまどの掃除とやる事が沢山ありますが、みんなで分担しテキパキと行いました。全ての行程が終わると、みんなの表情に疲れの色が見えてきたので、残りの時間を施設でゆっくり過ごす事にし、遊べると分かった途端、先ほどの疲れを吹き飛ばすほど元気に走り回っておられました。退所時に職員さんと挨拶、お別れをし、施設を後にしました。帰りの電車内でも終始お話が絶えず、メンバー同士で楽しまれていました。



### <キャンプ総括>

初日から天候が荒天でしたが、誰もが負けない程元気で、楽しみたい気持ちが強かったのが皆さんとお会いした時の第一印象でした。海遊びの際に天候は雨でしたが、雨の勢いに負けず楽しまれていました。海には大量の海藻が打ち上げられており、大人は躊躇するほどでしたが、メンバーにとって海藻も遊びの一つとして、集めたり、投げ合ったり、頭に寄せたりして、存分に楽しまれていました。普段の生活では、与えられた楽しみで遊ぶ事が主流となっていますが、こうして自分達で楽しみを見つけ、アレンジし、楽しみに変えていける力を持たれている事を再確認出来ました。活動のプログラムでも何でも楽しみを自身で創れるように促していきたいです。  
(竹中 哲郎)